

「前立腺全摘術トレーニングモデル作成に関する研究」

に対するご協力のお願い

研究代表(責任)者 松本 一宏

研究機関名 慶應義塾大学医学部

(所属) 泌尿器科学教室

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

2016 年 4 月から 2026 年 3 月までに、当院で前立腺癌の診断を受け前立腺 MRI 検査を施行した方が対象となります。

2 研究課題名

承認番号 20231095

研究課題名 前立腺全摘術トレーニングモデル作成に関する研究

3 研究組織

研究代表機関

慶應義塾大学医学部泌尿器科

研究代表者

(職位) 講師 (氏名) 松本一宏

4 本研究の目的、方法

ロボット支援下前立腺全摘術は、難易度が高い手術とされています。そこで若手医師に手術技術を指導するために、トレーニング用の生体の模擬臓器を作成することが本研究の目的です。患者さんの MRI データを用いて、実際の臓器と類似した触覚素材を用い、同様の骨盤内の解剖を再現します。

5 協力をお願いする内容

MRI 画像データおよび、前立腺全摘術に関するカルテデータ（手術時間、出血量、手術合併症）

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2028 年 3 月 31 日

7 外部への試料・情報の提供

MRI 画像から立体モデルの構築までは、外部企業に有料で依頼します。この依頼費用は当教室の研究費で行います。外部企業に個人が特定できない形の MRI 電子データ (STL データ) を送付し、完成した立体モデルを受領します。データから個人を識別するための対応表は作成しません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、前立腺 MRI 画像データおよび、前立腺全摘術に関するカルテデータの使用停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

研究責任者 所属 泌尿器科学教室 職名 講師
氏名 松本 一宏
連絡先電話番号 03-5363-3825